



ライセンス第2委員会（委員数 32名／担当：武田常務理事）

◆ 委員会構成

委員長 1名、副委員長 6名、委員 24名：計 31名
3小委員会体制

◆ 活動方針

ライセンス契約を含む技術関連契約等に関する国内外の実務上の課題に対する検討、要求度の高い情報の収集と整理、さらにこれらに基づく報告、提言を行うことにより、会員企業の当該契約に係る実務に貢献する。

◆ 内容の概略

第1小委員会：事業提携・事業再編における知財デューデリジェンス実務
第2小委員会：中国の最新動向をふまえた技術関連契約上の留意点
第3小委員会：データ利活用を伴う技術関連契約

◆ その他の活動

- ・ 特許庁・審査官ライセンシング研修（予定）
- ・ 日本知的財産仲裁センター意見交換会（予定）





ライセンス第2委員会第1小委員会（委員数 10名）

◆ テーマ名

「事業提携・再編における知財デューデリジェンス実務に関する調査研究」

◆ 狙い

価値指標やリスクを列挙・類型化し、それぞれについての評価手法（知財デューデリジェンス）を中心に、価値の可視化やリスクヘッジの手法を含めた考察・提言を行う。

◆ 内容の概略

- ① 知財デューデリジェンスの文献調査を行い、各業界に共通する課題・リスク及び各業界特有の課題・リスクを列挙する。
- ② 上記①で列挙された課題・リスクをそれぞれ類型化し、権利面、契約面、経済条件面での実務上のリスクヘッジ手法を検討する。
- ③ 価値/リスク評価手法は、専門家ヒアリング等により幅広く検討する。

◆ アウトプット&スケジュール

知財管理誌への論説の投稿を目標に調整中（単年度）





ライセンス第2委員会第2小委員会（委員数 10名）

◆ テーマ名

「中国の最新動向を踏まえた技術関連契約上の留意点に関する調査研究」

◆ 狙い

中国企業との技術連携に関連する政治動向や法規制の最新動向の調査研究を中心に、中国企業との技術提携を円滑に進めるための契約実務上の実践的な考察・提言を行う。

◆ 内容の概略

- ① 中国企業との技術提携に関連する政治動向や法規制の最新動向について調査研究を行い、契約実務上の課題の抽出・整理を行う。
- ② 上記で得られた課題毎に、どのような法的・ビジネス上のリスクが存在するのかを明らかにした上で、実務上の解決策について検討・深掘りを進める。

◆ アウトプット&スケジュール

知財管理誌への論説の投稿（単年度）





ライセンス第2委員会第3小委員会（委員数 10名）

◆ テーマ名

「データ利活用を伴う技術関連契約に関する調査研究」

◆ 狙い

データ利活用を伴う事業における問題点を幅広く抽出し、その中で最新の問題点を中心に、関連する契約においていかに手当てするか考察・提言する

◆ 内容の概略

当事者（個人も含む）が3者以上いる、データ利活用をするビジネスにおいて、
（1）各当事者がどのように交渉し、権利（知的財産権、データ、ノウハウ等）を取得するのか、（2）各当事者間で、どのような形で合意形成するのが理想的なのか、スマートシティの事例を基に検討する

◆ アウトプット&スケジュール

知財管理誌への論説の投稿を目標に調整中（単年度）

